

わかさ

社協だより

Vol. 20

2011年

6月23日発行

一球入魂
三方レイカーズ



特集 東日本大震災「災害ボランティア ～今、私たちにできること～」

3.11 東日本大震災

災害ボランティア

～今、私たちにできること～

平成23年4月10日撮影（陸前高田市）

東日本大震災

2011年3月11日、午後2時46分。三陸沖を震源地とした最大規模の地震が日本を襲いました。東北地方など各地で巨大な津波が発生し、多くの死者と行方不明者が出るという大惨事となりました。

地震発生から約3か月、被災地では多くのボランティアが活動しています。福井県内からも、陸前高田市へボランティアを派遣しており、県民ボランティアに登録した皆さんが「チームふくい」という名で活動しています。

災害ボランティア

～ボランティアとして大切なこと～

災害ボランティアとは、災害発生時に支援活動を行うボランティアのことです。炊き出しなど実際に被災地に出向いての活動だけではなく、募金活動など今自分が住んでいる場所で自分のことを行うのもそのひとつです。

大切なことは、自分のできる範囲の活動を行うことと、ボランティアをしたいという気持ちです。

ボランティアセンターの現状

陸前高田市災害ボランティアセンターでは、平均して1日約300人のボランティアが訪れ、瓦礫撤去作業等に当たっています。しかし、介護など専門的ニーズへの対応が不十分という現状もあります。



澤 美保
若狭町社協
パレオ若狭事業所
ケアマネージャー

「自分にできることは何か」という想いから、介護のボランティアをすることに決めました。被災地で活動した期間は4月6～10日の5日間。被災地は混乱状態でした。介護が必要なために、避難所での生活が困難で在宅生活を余儀なくされている高齢者などが多く見られました。そのような中、高齢者宅を訪問して状態を確認したり、入浴介助を行ったりしました。しかし、ライフラインが不十分なことなどにより活動は非常に困難でした。特に情報面の課題が大きく、支援が必要な高齢者のデ

「チームふくい」の一員として ～陸前高田市でのボランティア活動に参加～

ータはすべて津波によって流されたため、地域における情報は皆無でした。継続した支援が行われるよう、地域へつなげるために情報を収集し、整理する活動も行いました。自分たちがずっと被災地で支援活動ができるわけではなく、自分たちが帰った後も、より早く普通の生活に戻れるように、被災地域の住民が自立できるようにと考えてのことです。『地域につなげ、地域に戻す』ことを大切にしながら活動しました。

陸前高田市災害ボランティアセンター



福井県内社協支援チーム

福井県内の社協も、3月23日から4人一組で職員を派遣し、被災地で支援活動にあたっています。

福井県内社協は岩手県陸前高田市を担当しており、災害ボランティアセンターの運営や津波で流されてしまったデータの整理など、復興に向けて仕事をサポートしています。



震災から、約2か月後の様子



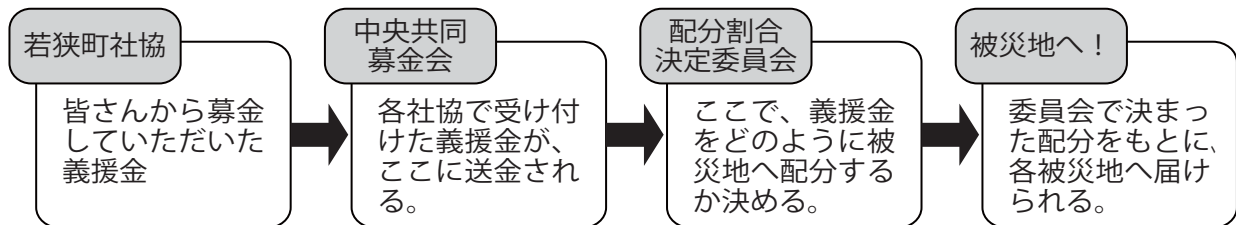
災害義援金の行方

義援金は、災害などで被災された方々の支援のために使われるお金です。

若狭町社協で受け付けた義援金は、共同募金会へ送金されます。その後、「義援金配分割合決定委員会」が開かれます。この委員会では、共同募金会だけでなく日本赤十字社など他の団体で受け付け

た義援金とともに、配分割合を決定し被災地へ届けます。

多くの皆さんに心のこもった募金をしていただき、ありがとうございました。引き続き、9月30日まで若狭町社協各事業所にて、義援金を受け付けております。ご協力、よろしくお願いいたします。



最後に・・・

～陸前高田市の一本松～

大きな津波が来ても流されなかったこの一本の松のように、たとえ時間がかかっても、希望をもってゆっくり一歩一歩、復興に向かっていくと思います。

この一本松は、陸前高田市で復興への希望の象徴となっています。



社協による被災地支援活動に参加して



木下 健
若狭町社協
いずみ事業所
地域福祉担当

福井県内社協支援チームとして、5月17日～24日まで現地での支援活動に参加しました。

私は、主に法人機能支援のほうに携わらせていただきました。活動の中で沿岸部の被災現場を見させていただいたとき、TV、報道等では見てはいるものの、実際自分の目で見ると言葉はありませんでした。今後、一生忘れることはないと思います。

今回の津波に被災した地域は、終戦直後の日本の記録映像とよく

似ているように思いましたが、そんな終戦直後の日本も、今では時と共に再生し洗練された街並を築きあげています。

どうやって再生したのか？

それは、少しずつ少しずつ根気よく時間をかけて、人の手によって再生されたのではないかと思います。

陸前高田市災害ボランティアセンターにも、北は北海道、南は沖縄から個人、団体のボランティアさんが、それぞれ「自分にも何か出来ることはないだろうか」と使命感を持って活動されています。その姿を目の当たりにし、東北そして陸前高田も必ず復興、再生出来ると感じました。

名も無きヒーローやヒロインの手によって！

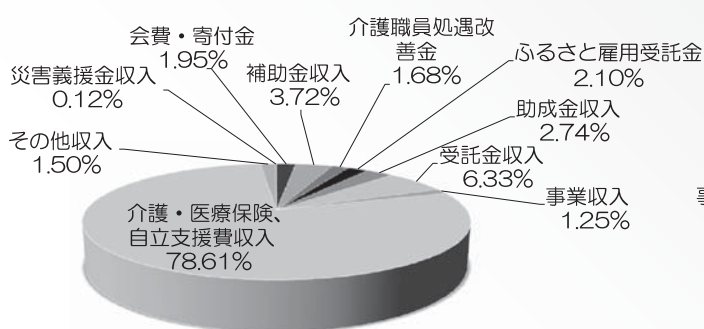
若狭町共同募金委員会にて
お預かりした義援金(6月2日現在)

857,507円 53件

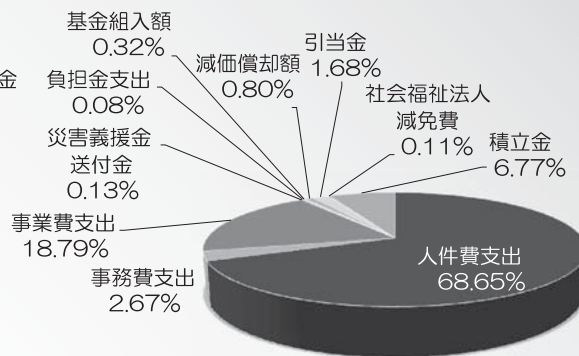


義援金を持ってきてくださった
梅の里小学校の皆さん。

(収入) 決算額: 626,260,518円



(支出) 決算額: 620,427,177円



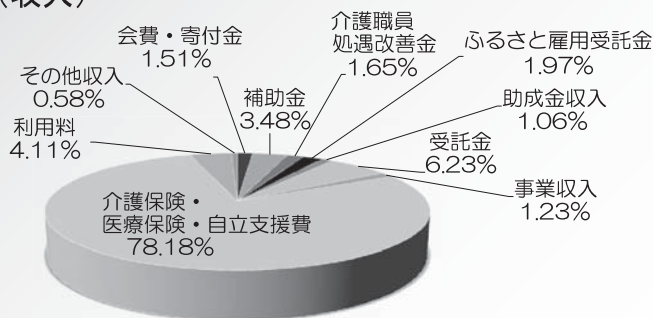
※平成22年度は休止していたケアホームを再開しました。また、平成23年度をもってふるさと雇用事業、介護職員処遇改善事業が終了となるため、平成22年度から積立を開始しました。

平成23年度予算

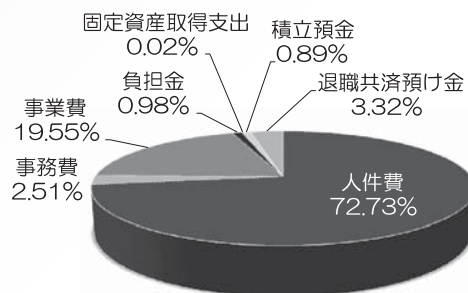
資金収支予算書より

予算総額: 669,905,000円

(収入)



(支出) 予算額: 662,624,000円



※第2次若狭町地域福祉活動計画に沿って事業を運営します。
平成23年度も効率的運営を図り健全経営に努力します。



平成22年度会費の使い道

お預かりした会費 3,964,000円

会費1,000円の使いみち

こんな事業に	これくらいの割合で	こんな費用に
まごころ給食 (独居、老人世帯を対象に650円の利用料でボランティアの協力を をいただいで自宅まで昼食弁当を届けています)	 208円	事務費 2.6% 運営費 95.1% 衛生管理費 2.3%
地域住民対象介護教室	 34円	運営費 (講師謝金、旅費)
地域サロン事業 (斎場無料送迎バス・地域サロン)	 163円	運営費 (ガソリン、車両維持費)
広報活動・住民への弔意 (地域活動紹介・弔電)	 92円	印刷製本費 33.8% 通信運搬費 66.2%
地域福祉事業 運営費 (地域福祉活動拠点運営費)	 373円	車両維持費 32.2% 活動費 51.6% 管理費 16.2%
福祉バス 運営費 (サロンバス運行)	 130円	運営費 (車両リース料)

社会福祉協議会の自主財源のひとつである会費を使って地域福祉事業を行っています。
平成23年度もお願いさせていただきますので、ご協力よろしくお願いします。

若狭町社会福祉協議会は「みんなが支え合い、すべての人が 幸せを感じられる、心地よい地域づくり」をめざしています

(敬称略・順不同)

地 域 住 民 (社 協 会 員)

評議員 30名 【任期 平成22年4月1日から平成24年3月31日まで】

所 属	氏 名	集落名	所 属	氏 名	集落名	所 属	氏 名	集落名
民生委員児童委員協議会	小西 清光	藤井	ボランティア	長塚さか江	白屋	PTA連合会	坊 善次	南前川
民生委員児童委員協議会	小堀 淑子	鳥浜	ボランティア	大福 浩剛	堤	PTA連合会	森下 友靖	新道
民生委員児童委員協議会	中村 悟	堤	保護司会	井関 和明	東黒田	子供会育成会	塚原 利夫	横渡
民生委員児童委員協議会	原田 房枝	若王子	保護司会	池上 勉	新道	子供会育成会	吉岡 正之	食見
区長会	長江 和男	横渡	農漁協	河原 武教	兼田	母子福祉協議会	和多田きぬ枝	気山
区長会	宮本 哲男	熊川	農漁協	安原 博之	小川	母子福祉協議会	武田 恵子	上野木
老人クラブ	森下 幸一	神子	商工関係	雨森 登	市場	身体障害者協会	岩本登巳雄	伊良積
老人クラブ	上田 正巳	瓜生	商工関係	岡 伊三郎	三方	身体障害者協会	河原 利明	天徳寺
女性の会	松宮 豊美	大鳥羽	婦人福祉協議会	千田 要子	鳥浜	社会福祉施設	栗駒 辰子	世久見
女性の会	千田 敏子	鳥浜	婦人福祉協議会	吉田恵美子	脇袋	社会福祉施設	山田 善市	三宅

理事 13名 【任期 平成23年4月1日から平成25年3月31日まで】

会長 塚本 新一 (仮屋：地域代表)				副会長 呉林 美徳 (向笠：地域代表)			
役職名	氏 名	集落名	選出区分	役職名	氏 名	集落名	選出区分
理 事	井口 隆夫	成出	地域代表	理 事	鳥居 昭彦	三方	地域代表
	岡上 角衛	下夕中	地域代表		明智 忍	新道	地域代表
	橋本 信文	中野木	地域代表		日置 孝雄	能登野	民生委員児童委員協議会代表
	宇田 保夫	大鳥羽	地域代表		福谷 洋	三田	議会代表
	山田ミチ子	倉見	地域代表		蓮本 直樹	横渡	行政代表
	和多田俊子	気山	地域代表				

※ 若狭町共同募金委員会 運営委員兼任

監事 2名

【任期 平成23年4月1日から
平成25年3月31日まで】

氏 名	集落名	選出区分
松井 良平	小原	地域代表
山形 晃	(敦賀市)	学識者

※ 若狭町共同募金委員会 監事兼任

職員組織体制

平成23年6月1日現在

事務局長 田中 文明

事務局次長 今井ひろみ

法人本部：パレア若狭

職員 86名
パート 82名
契約 3名
計 171名

■法人運営事業 2名

パレア若狭事業所 所長 今川 政之

■地域福祉事業	6名
■生活支援ハウス リラクゼーション施設	4名
■食事サービス事業	7名
■デイサービスセンター パレア若狭	21名
■居宅介護支援事業所 パレア若狭	7名
■小規模多機能ホーム ほたる熊川宿	7名

いずみ事業所 所長 田辺 隆明

■地域福祉事業	5名
■葬祭事業	3名
■ホームヘルプサービス いずみ	21名
■訪問入浴介護事業所	5名
■デイサービスセンター いずみ	13名
■訪問看護ステーション美方	7名

五湖の郷事業所 所長 清水 武久

■地域福祉事業	1名
■食事サービス事業	5名
■デイサービスセンター 五湖の郷	9名
■障がい者日中活動支援事業 五湖の郷	5名
■特別養護老人ホーム 五湖の郷	27名
■障がい者ケアホーム 五湖の郷	3名
■認知症対応型グループホーム 五湖の郷	8名

若狭町社会福祉協議会 関係委員のご紹介

福祉委員 (任期：平成 23 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日)

(敬称略・行政順)

集 落 名	氏 名	集 落 名	氏 名	集 落 名	氏 名
倉見	山口 喜美代	別庄	渡辺 重喜	下夕中	田脇 政江
白屋	頭庄 純子	世久津	清水 たゑ	有田	大田 君子
成願寺	蓮本 史郎	伊良積	泉原 功	下吉田	岡本 起代子
上野	今井 輝恵	北庄	田辺 静也	上吉田	中村 紀代美
能登野	海原 俊美	海山	吉田 薫	脇袋	岡本 洋子
能登野	吉田 さよ子	世久見	田辺 裕美	関	辻 喜三男
横渡	吉田 京子	食見	山野 浜子	若葉	小林 正幸
井崎	梅木 ルリ子	塩坂越	大谷 弘江	サンコーボラス瓜生	清水 昭伸
井崎	清水 ふさ子	遊子	田辺 吉治	グリーンハイツ	西 かよ子
高岸	田辺 君子	小川	西村 都子	瓜生	荻野 忠左工門
岩屋	吉田 光子	小川	松本 美貴	熊川	中尾 和徳
田上	江戸 かつ枝	神子	宮下 久義	新道	堂本 優
東黒田	清水 順子	常神	江村 由紀子	河内	吉岡 正美
相田	藤田 初子	気山	兼田 久子	せせらぎ	三代 信明
相田	野村 昌代	気山	坂口 玉枝	飯屋	山本 昇
藤井	百田 キヨ子	大鳥羽	松宮 義之	若王子	香川 一二三
藤井	中川 千恵子	大鳥羽	桧鼻 ふじよ	三宅	前田 正
南前川	山形 まさゑ	上黒田	橋本 玉枝	市場	杉井 春枝
南前川	坊 信子	麻生野	三宅 和博	井ノ口	松宮 敬子
北前川	青池 春恵	海士坂	竹内 喜孝	天徳寺	井上 稔久
佐古	今井 久美子	三生野	西川 多津子	神谷	橋本 良子
向笠	河原 政枝	無悪	玉井 初江	日笠	河原 茂樹
鳥浜	松村 寿子	三田	美尾谷千代美	あじさい団地	鶴本 敏行
鳥浜	松村 光洋	小原	山本 由美子	杉山	内藤 敏子
館川	三宅 由行	南	南谷 初夫	堤	田中 文代
三方	武笠 治良	山内	森北 晴代	兼田	水口 千景
上瀬	林田 史恵	持田	西田 修	武生	桑原 清美
成出	田辺 るみ子	長江	原田 浩幸	玉置	田中 富美代
田井野	玉井 常光	朝霧	中村 光宏	上野木	居関 嘉一
梅ヶ原	原 稔	末野	下島 ゑみ子	中野木	東 慎一
田立	武岡 豊一	安賀里	岡本 武士	下野木	小谷 英典

ボランティアセンター運営委員

(任期：平成 23 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日)

(敬称略・順不同)

集落名	氏 名	集落名	氏 名	選出先	氏 名
横 渡	塚原 利夫 (社会福祉団体)	藤 井	熊谷 和子 (ボランティア活動実践者)	上中中学校	大峽 歩 (教育関係者)
小 川	松本 孝雄 (学識経験者)	下夕中	井上 治継 (ボランティア活動実践者)	三方中学校	澤 信也 (教育関係者)
麻生野	水江 洋子 (社会福祉施設)	せせらぎ	古川 鏡子 (ボランティア活動実践者)		

共同募金審査委員

(任期：平成 23 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日)

(敬称略・順不同)

集落名	氏 名	備 考
飯屋	塚本 新一	若狭町共同募金委員会 会長
横渡	塚原 利夫	若狭町ボランティアセンター運営委員長
横渡	長江 和男	若狭町区長会長
無悪	橋本須美子	学識経験者 (教育関係者)
鳥浜	千田 敏子	若狭町女性の会 会長

苦情解決第三者委員

(任期：平成 23 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日)

(敬称略・順不同)

集落名	氏 名	備 考
長江	原田 義勝	苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するための委員
市場	古川 彰二	
気山	和多田 宏	
岩屋	吉田 光子	



3分でわかる介護

Vol.13

3分でわかる介護は、できるだけ家庭での介護負担を軽減できればと思いシリーズ化しています。

認知症編

年をとるにつれて「物忘れがひどくなった」と感じている方、多いのではありませんか？

ただの「物忘れ…」でしょうか…。

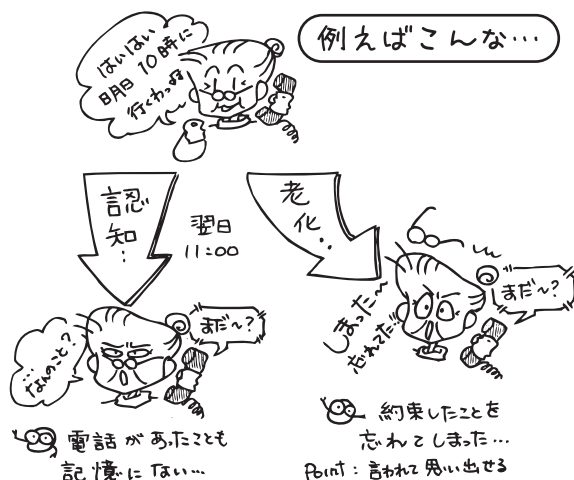
最近は認知症という言葉をよく耳にします。身近になってしまった病気ですが、まだまだ正しく理解されていないのが現実です。ちょっとした違いを知っておくのも認知症予防につながるのではないかと思います。

なるほど 物忘れと認知症の違い

物忘れ 物忘れの原因と症状

脳細胞の減少という老化現象の影響

- ・体験の一部を忘れる
- ・物忘れを自覚している



認知症 認知症の原因と症状

通常の老化より早く細胞が消失してしまう脳の病気

- ・体験の全体を忘れる
- ・物忘れの自覚が乏しい

※他にもこんな症状が多く見られます。

- ・同じことを何度も言ったり聞いたりする
- ・物の名前が出てこない
- ・趣味や興味・関心がなくなった
- ・些細なことで怒りっぽくなった

知っ得

◎ 予防方法は？

運動をしましょう

ウォーキングや体操などがお勧めです

食生活に気をつけましょう

塩分を控えめに、青魚や野菜・果物をたくさん食べましょう

頭を使いましょう

テレビや新聞をみて情報に敏感になりましょう
趣味を持ち、おしゃれをしましょう
おしゃべりをしましょう

◎ どうすればいいの？

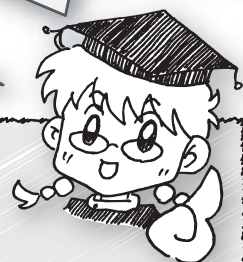
まずは、肯定。逆らわず、本人が言ったことを繰り返かえて、受け入れることによって、本人は落ち着くことができます。

生活習慣や言葉の中に、周りから見ればおかしく映る行動にも理由が見えてくるかもしれません。ゆっくり話を聞いてあげてください。

◎ 専門機関に相談しましょう

認知症の中には治るものもあります。正しい対応の仕方や治療によって、進行を止めたり遅くしたりすることもできますので、主治医または地域包括支援センターに相談してみましょう。

■ 地域包括支援センター（若狭町福祉課内）TEL 0770-62-2703



■小地域福祉活動推進セミナー「広がるご近所福祉」を開催いたします！

NHKの人気番組だった「難問解決！ご近所の底力」の担当ディレクターより、「自治会活動の停滞」や「高齢者の見守り」など、身近なテーマを当時の番組映像を交えながら難問解決のヒントをお話しいたします。

日時：平成23年7月30日（土）13:30～16:00

※ 予約不要ですので、当日会場へお越しください。

場所：パレア若狭 音楽ホール（福井県三方上中郡若狭町市場18-18）

講師：黒川 敬 氏

（日本放送協会制作局第1制作センター生活・食料番組部チーフ・ディレクター）

参加費：無料

■ お問い合わせ先

若狭町社会福祉協議会 パレア若狭事業所

TEL：0770-62-9005 担当：内 藤

■福祉サービスの苦情解決をお手伝い

福祉サービスの苦情解決をお手伝いいたします。

福祉サービスを利用して・・・

いやな思いや、けがをした

サービス内容に不満がある

職員の対応が悪い など

事業所に直接話しにくかったり、事業所との話し合いで解決できなかった場合など、お気軽にご相談ください。秘密は必ず守ります。匿名でもかまいません。

相談時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
（祝日・年末年始は除きます。）

■ お問い合わせ先

福井県運営適正委員会（福井県社会福祉センター1階）

電話：0776-24-2347 FAX：0776-24-8942

e-mail：kujyo@f-shakyo.or.jp

■れいなん福祉就職フェア2011夏

福祉職場へ就職を希望する方、福祉の仕事に関心のある方を対象に、福祉就職フェアを開催いたします！各事業者等の採用担当者などに直接話を聞くこともできますので、お気軽にご参加ください。

■ 内 容

日時：平成23年6月25日（土）13:30～15:30

会場：敦賀市福祉総合センター「あいあいプラザ」

○個別相談コーナー

福祉職場の求人募集、仕事内容の直接面談

○福祉の仕事・資格相談コーナー

福祉の仕事に関する様々な相談に応じます

○ハローワーク相談コーナー

就職に関する様々な相談に応じます

■ お問い合わせ先

嶺南福祉人材バンク無料職業紹介所（敦賀市社会福祉協議会内）

TEL:0770-22-3133（代）

苦情受付をしております。

若狭町社協では、皆様から寄せられた苦情について、誠意を持って適切な対応に努め、その解決にあたります。

①苦情は面談、電話、書面などにより苦情受付担当者が随時受け付けます。なお直接申し出にくい場合は、第三者委員に直接申し出ることできます。

②苦情受付担当者は、受け付けた内容を苦情解決責任者に報告します。苦情解決責任者は第三者委員会に報告します（申出人が報告を拒否した場合は除きます）。第三者委員は内容を確認し、申出人に報告を受けたことを通知します。

③苦情解決責任者は、申出人と誠意をもって話し合い、苦情解決に努めます。その際、申出人は、第三者委員の助言や立会いを求めることができます。

平成22年度の苦情・要望・件数

支援内容や職員に対する苦情	6件
社会福祉協議会に対する苦情	4件
要望や希望と思われるもの	6件



以上、16件の貴重なご意見をいただき、全て解決しております。ありがとうございました。

若狭町社会福祉協議会で実施している事業について、皆様方のご意見を真摯に受け止め、さらなるサービスの質の向上を目指してまいります。

■ 助成金情報

・社会福祉法人清水基金「一般助成事業」のご案内

対象：①障がい児者福祉の増進を目的として運営される民間社会福祉法人施設の機能整備事業

②同上施設が行う、在宅福祉サービス等地域福祉活動推進のための機能整備事業

内容：施設福祉及び地域福祉に必要な建物・車輛・機器等を整備するための費用

■ お問い合わせ先

社会福祉法人 清水基金

TEL：03（3273）3503 FAX：03（3273）3505

・財団法人太陽生命厚生財団

対象：地域福祉活動を目的とするボランティアグループ及びNPO

内容：在宅高齢者又は在宅障がい者等のために福祉活動や文化活動を行うために必要な経費または機器・機材。備品等を整備するための費用（在宅高齢者・在宅障がい者の家族のための福祉活動・文化活動を含む）

■ お問い合わせ先

財団法人 太陽生命厚生財団事務局

TEL/FAX：03（3272）6268

日本財団の助成事業により見事に改修！！

この度、日本財団さまによる福祉拠点整備に関する事業の助成金をいただき、熊川地区に**小規模多機能ホーム『ほたる 熊川宿』**がオープンし、平成23年4月より運営をさせていただいております。

ここに助成事業の完了と開所のご報告を申し上げますと共に、日本財団さまを始め、ご協力を賜りました関係各位に謹んで感謝の意を表します。

今後ますます地域に根ざした、充実した福祉サービスの提供に努めてまいります。



日本財団 助成事業
The Nippon Foundation



熊川地区に
オープン！！



みなさまから、笑顔が自然にあふれる毎日が送れるよう、目指してまいります。

やさしさをありがとうございました

平成23年2月21日から平成23年5月20日までに「社会福祉事業に役立てて下さい」と下記の方々よりご寄付をいただきました。（敬称略・順不同）

福祉基金

佐 古 今井 慶哉	100,000円	藤 井 小西 清光	300,000円	匿名	300,000円
鳥 浜 中村 秀博	100,000円	新 道 宮前 喊次	200,000円	匿名	50,000円
飯 屋 古坂 綾子	100,000円	大鳥羽 松宮 昌弘	200,000円	匿名	30,000円
三 宅 木村 秋子	100,000円			匿名	2,000円

物品寄贈

成願寺 三浦 定戒	収納庫
	シェーバー
成願寺 三浦 定子	オキシメータ
	車いす

五湖の郷で使用させていただきます。

物品預託

上中老人大学カラオケ愛好会	タオル	匿名	介護用品、衣類
若狭町赤十字奉仕団	タオル	匿名	介護用品
みそみ女性の会	タオル、石鹸	匿名	介護用品
西田地区女性の会	タオル	匿名	血圧計
匿名	タオル	匿名	手すり、4点杖、歩行器

預託や寄付いただいた物品は、地域や若狭町社会福祉協議会にて有効に使わせていただきます。上記以外にも多くの方々より、使用済み切手やエコキャップ等のご寄付をいただきました。

～鳥羽小学校～ 「7km、完走しました！」

地域の中でのびのびと育つ鳥羽っ子

鳥羽小学校では、初めての試みとして春季遠足を親子で、なおかつ『第20回若狭・三方五湖ツーデーマーチ』に参加するかたちで実施しました。参加者は親子合わせて250人を超える規模となり、参加団体の中で最大規模となりました。

出発式では、6年生の代表児童10人が7kmコースと10kmコースの参加者に『激』をとばす大役をいただきました。彼らの元気な掛け声の後は、昼食場所である『若狭縄文ロマンパーク』に向けて、いよいよ出発です。当日は30℃を超えるような暑さで、大人も子どもも顔を真っ赤にしながら歩いていきました。

縄文ロマンパークに着いてからは、親子でお弁当を食べたり、みんなで遊んだり、短い時間ながらも充実したひと時を過ごすことができました。元気なお父さん達の中には、子どもたちに交じってサッカーをする方もみられ、子どもたち以上に親子遠足を楽しんでいらっしやるようでした。

7kmのコースを歩き切り、メイン会場にゴールした皆さんは、疲れてはいたもののどなたも素晴らしい表情をしていました。今回のコースは7kmでしたが、このコース以外にも10km、20km、40kmといったコースが設定されています。今回を契機に、今後さらに長いコースに挑戦してくれる子どもたちが出てくることを期待したいものです。



三方レイカーズ

スポーツ少年団野球（三方地域）

登録メンバー 36人

指導者

代表 藤本斉さん
監督 平尾真一さん
コーチ 旭亀代治さん
他7名

練習日

毎週土曜日、日曜日
9:00～12:30

主な試合

全日本学童野球福井県大会、JA若狭杯、ライオンズ杯 など

指導者代表の藤本斉さんは、チーム発足時の平成5年から、指導にあたっておられます。

藤本さんは「小学生の間はまず、スポーツを好きになり楽しむこと。そして、スポーツを通じて人間としての礼儀・挨拶・思いやりなどを悟ってほしいと思います。スポーツが好きになると自然と上手になりたいという気持ちになり、監督・コーチの話を聞く態度が変わってきます。小学生は誰でも伸びる可能性をいっぱい持っていると思います。私達は、そんな可能性ある子供達を指導し、成長を感じることで、感動や元気をもらっています。」と、思いを熱く話して下さいました。

★指導目標★

1. 部員相互の融和を図り、豊かな人間関係を育てる。
2. 野球を通じてスポーツを楽しむ、心身の健やかな成長を図る。
3. 団員、指導者、保護者間等における挨拶を奨励し、規則正しい人間性を養う。
4. 各自における健康管理等、自立した人格の形成を図る。
5. グラウンドや用具の取り扱い方を学ぶことにより、物を大切にする心を養う。
6. 個々における技術向上は基より、チームとしてのレベルアップを図る。
7. 野球ルールを学び、正しい知識を身につける。

